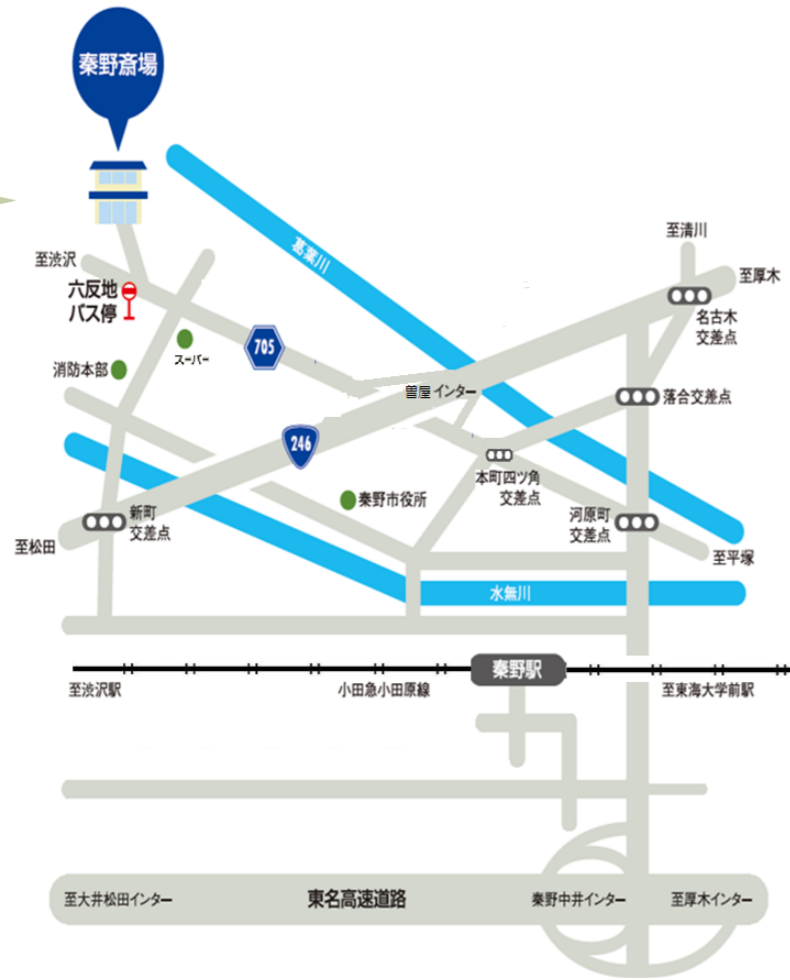
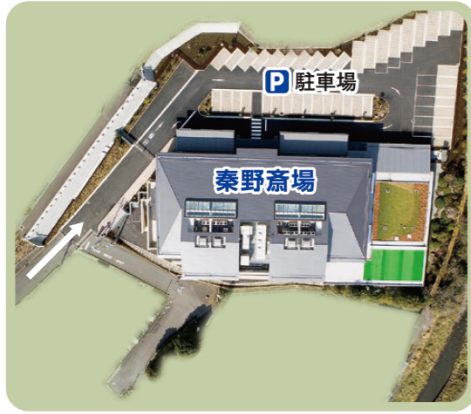


秦野斎場 アクセス



お車

東名秦野中井インター出口左折約4.5km
河原町交差点左折約3km(約10分)

神奈中バス

小田急線秦野駅北口(2番線乗場)
六反地下車(約10分)

- 榎木堂菩提経由津沢駅北口行き
- 横野入口行き
- 榎木堂経由高砂車庫前行き

秦野斎場 神奈川県秦野市曾屋1006番地

電話 0463-81-2052 FAX 0463-86-6087

秦野市伊勢原市環境衛生組合 神奈川県秦野市曾屋4624番地

電話 0463-82-2502 FAX 0463-83-5933



熱技術と未来環境の追究

MIYAMOTO

株式会社宮本工業所

URL:<http://www.miyamoto-k.co.jp>

[本社]

〒930-8512 富山県富山市奥田新町12-3
TEL:076-441-2201 FAX:076-441-6645

[東京本店]

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-22-13 PMO八丁堀8F
TEL:03-3553-2811 FAX:03-3553-2814

大阪支社/札幌支店/東北支店/名古屋支店/広島支店/四国支店/九州支店

秦野斎場



秦野市伊勢原市環境衛生組合

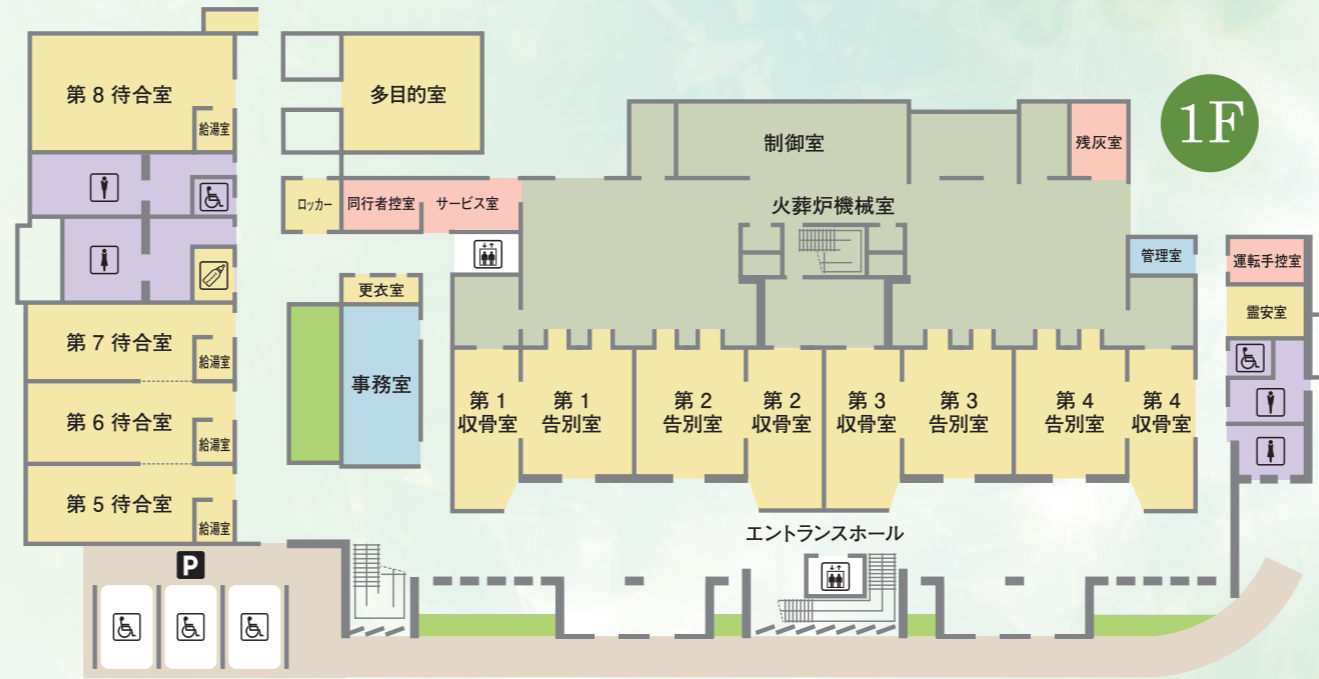
「山並みと呼応する大屋根を持つ、ふるさとの民家」と「自然」との調和

施設コンセプト

- 1 外観デザイン**
丹沢大山等の周囲の自然に溶け込むデザイン
- 2 環境保全**
集塵装置(バグフィルター)等による排ガス対策
- 3 災害対策**
建築基準の1.25倍の耐震性を確保、非常用発電機を装備
- 4 自然エネルギーの活用**
自然光の効果的な取り入れ、トイレ等の雑用水は雨水を再利用
- 5 地産地消への取り組み**
床、壁及び天井には、杉を主体とした地元産の木材を使用

施設概要

事業費	約19億6千万円(主要工事費)
区域面積	5,427.30㎡
建築面積	2,447.32㎡
延べ面積	3,395.20㎡
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造混構造2階建て
火葬炉設備	台車式火葬炉7基(予備スペース1基分)
集じん設備	乾式バグフィルター
駐車場	普通乗用車39台、マイクロバス9台 車いす利用者用3台(通常時)
部屋数	告別室4室、収骨室4室、待合室8室
その他	売店、キッズルーム、授乳室、更衣室等

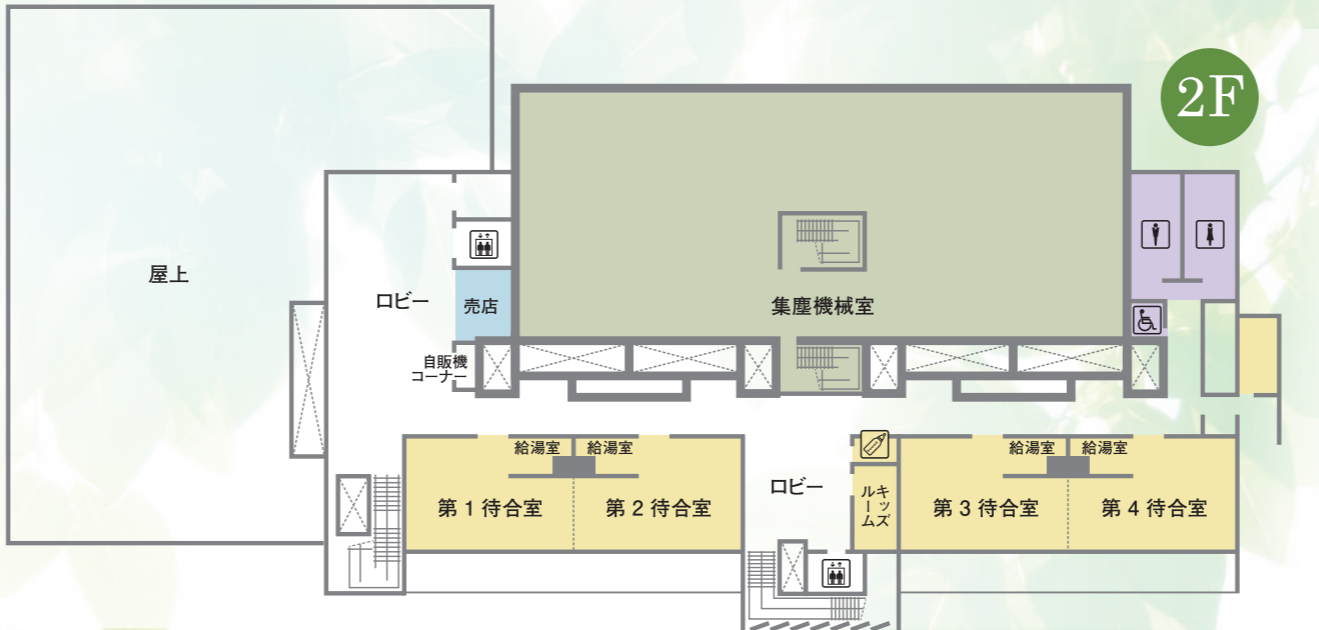


告別室 4室

ふるさとの大空に還る故人の魂を見送る「最後のお別れの場」です。トップライトから降り注ぐ自然光より厳かで上昇感のある空間を演出します。

収骨室 4室

天空からの一筋の自然光により、故人の身体が母なる大地に還る場を演出します。



火葬炉機械室

最新の機能を備えた火葬炉

火葬炉

制御室

火葬炉設備のコンセプト

- 環境** 地球環境保全への配慮はもちろんのこと、周辺環境に影響を与えない性能の追求。
- 安全** 常に安全かつ安定した稼働を実現するために、さまざまな障害を想定した設計思想。
- 尊厳** ご遺体の尊厳を守り、故人を受容するにふさわしい設備へのこだわり。
- 保全** 万が一の事態に対しても、迅速かつ的確な対応を可能にする安心のサポート体制。
- 心情** 遺族の心情に配慮し、葬儀の尊厳性を保ちながら、心安らぐデザインの追求。
- 経済** 徹底した自動化による省労力化に加え、ランニングコストの低減化を追求。

天井ルーバー

天井ルーバー、照明カバー等は地元産の木材を使用しています。

待合室欄間、照明

エントランスホール

天井は地元産の木材を使用したルーバーを配置し、壁には地元の里山で採れた木の葉を型どりしてアクセントに、木々に包まれたふるさとをイメージしました。

待合室 8室

会葬者が故人との思い出やふるさとのことについて語り合う場となります。40名収容7室、52名収容1室。

2Fロビー

丹沢大山の雄大な景観を取り込み、故人とふるさとへの感謝を示す、語らいの場となります。